



Cisco Vision Dynamic Signage Director の動作を使用する前に

注: このガイドでは管理者レベルの権限のみが示されています。

この項では、Cisco Vision Director を使用開始するための基本情報について説明します。説明する項目は次のとおりです。

- [Cisco Vision Director のユーザー インターフェイスの概要\(19 ページ\)](#)
- [より厳格なパスワード\(20 ページ\)](#)
- [新しいデフォルトのパスワード\(21 ページ\)](#)
- [Cisco Vision Director の API の概要\(37 ページ\)](#)
- [ユーザー ロールについて\(41 ページ\)](#)

Cisco Vision Director のユーザー インターフェイスの概要

この項では、さまざまな UI の概要を示します。グローバルナビゲーションは次の 7 つのアイコンで構成されています。

- [ライブラリ\(Library \)\(23 ページ\)](#)
- [Device Management\(26 ページ\)](#)
- [スクリプト管理\(27 ページ\)](#)
- [Event Management\(28 ページ\)](#)
- [System Status\(29 ページ\)](#)
- [Designer\(30 ページ\)](#)
- [設定\(31 ページ\)](#)

次に、下記のトピックを表示する [More] ドロップダウンについて説明します。

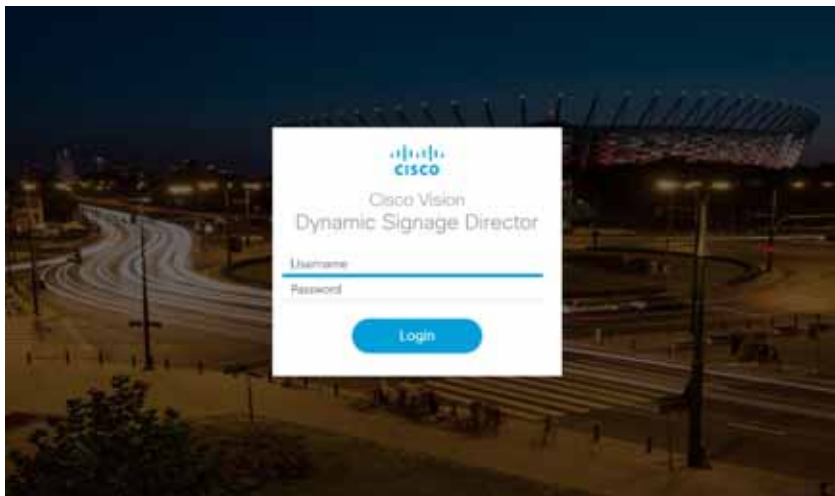
- [ダイナミック メニュー ボード\(Dynamic Menu Board \)アプリケーション\(32 ページ\)](#)
- [TV オフ\(Turn TVs Off \)アプリケーション\(33 ページ\)](#)
- [ソフトウェア管理\(Manage Software \)アプリケーション\(35 ページ\)](#)
- [システムステートレポート\(System State Report \)アプリケーション\(35 ページ\)](#)
- [SNMP の設定\(36 ページ\)](#)

より厳格なパスワード

リリース 6.1 以降、Cisco Vision Dynamic Signage Director のユーザーは、より強固なパスワードを設定する必要があります。新しいパスワードを設定するときは、次のルールを使用します。

- 少なくとも 1 つの小文字 (a ~ z) が必要です。
- 少なくとも 1 つの大文字 (A ~ Z) が必要です。
- 少なくとも 1 つの数字 (0 ~ 9) が必要です。
- 少なくとも 1 つの特殊文字が必要です。特殊文字は ! @ # \$ % です。
- 必要な文字数は 8 ~ 20 文字です。
- 次の文字を含めないようにする必要があります。スペース、タブ、改行、ラインフィード、バックスラッシュ (\)。
- 辞書に登録されている事前定義されたリストの文字列は使用できません。
- 連続する 3 文字は使用できません (例: abc5#pqr は許可されません)。
- 文字を 4 回繰り返すことはできません (例: aaaa#2020! は許可されません)。

図 1 ログイン画面



注: ユーザが最初にログインしたとき、[User] 画面 ([Configuration] > [User]) でユーザを作成するときに [Generate Password] ボタンが表示されます。このボタンを使用すると、パスワード ルールに一致するランダムなパスワードが生成されます。新しいパスワードを表示するには、「目」のアイコンを使用します。

- Cisco Vision Director にログインした後、UI には最後のログイン日時とその成否に関する簡単なメッセージが表示されます。
- ログイン試行で 1 分以内にパスワードの入力を 5 回失敗すると、アカウントが一時的に 30 分間ロックされます。次のログインが成功すると、試行に失敗した回数が多すぎたためにアカウントがロックされたことを示すメッセージが表示されます。
- [User] インターフェイスで「管理者」ロールを削除することはできません。

注:

1. すべてのユーザーは、現在のパスワードをチャレンジとして入力することで、自分のパスワードを変更できます。
2. 管理者は、誰のパスワードでもチャレンジなしで変更できます。

Cisco Vision Director のユーザー インターフェイスの概要

3. パスワードを除いて、ユーザーの他のフィールド(電子メールなど)はチャレンジなしで変更できます。
4. パスワードエントリの有効期限についての通知が表示されます。



5. ユーザーが作成されるか、パスワードが変更されるたびに、変更日がログに記録されます。

新しいデフォルトのパスワード

デフォルトの Web UI 管理者用のユーザーパスワードがあり、DMP 管理者用のパスワードもあります。

Web UI 管理者のデフォルトのパスワードは次のとおりです。**C-V1\$!0n**

アップグレード後のパスワード

既存のインストールをアップグレードすると、既存のパスワードが保持されます。

新規インストール後のパスワード

ロール: 管理者(Administrator)

新規インストール後、最初のログイン時にデフォルトの管理者ユーザーはパスワードの変更を求められます。リリース 6.1 以降では、新しいパスワードはパスワード ポリシーに従う必要があり、従っていない場合はパスワードが拒否されます。

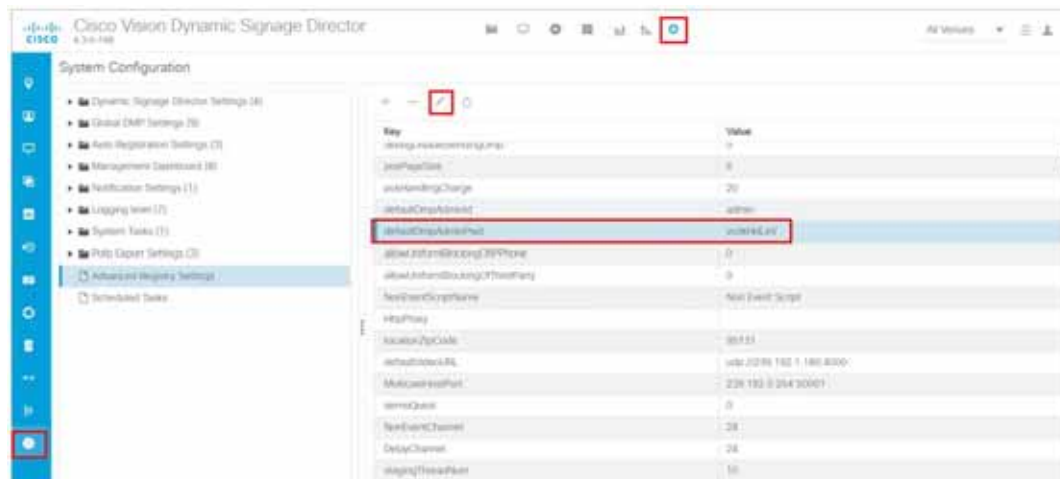
DMP 管理者パスワード

DMP 管理者の新しいデフォルトパスワードはランダムに生成されます。フルインストール中はパスワードがリセットされません。

ランダムな DMP パスワードの値を見つけるには、次の手順を実行します。

1. [Configuration] > [System Configuration] > [Advanced Registry Settings] をクリックします。
2. レジストリデータのキーリストで、下にスクロールして **defaultDmpAdminPwd** を表示します([図 22 ページ](#))。ランダム値が表示されます。
3. 値を変更するには、[Edit] をクリックします。[Edit - Configuration Setting] ダイアログボックスが表示されます。
4. [Value] フィールドに新しいパスワードを入力します。[保存(Save)] をクリックします。

図 2 DMP 管理者パスワードのランダム値



DMP パスワードの更新を容易にする主要な要素は、**defaultDmpAdminPwBackup** です。このレジストリキーは、DMP のリブート要求が失敗したときに、フォールバックパスワードとして使用されます。このフォールバックパスワードは、設定されていないか、**defaultDmpAdminPw** と同じ値に設定されている場合、無視されます。

ベストプラクティス: **defaultDmpAdminPw** を変更する前に、**defaultDmpAdminPwBackup** を **defaultDmpAdminPw** の値に変更します。

リリース 6.2 のフルインストール時、またはリリース 6.1 からのデータが移行される時、**defaultDmpAdminPwBackup** は空の値に設定されます。

DMP パスワードを変更するには、次の手順を実行します。

1. [Configuration] > [System Configuration] > [Advanced Registry Settings] をクリックします。
2. **defaultDmpAdminPw** のレジストリ値を **defaultDmpAdminPwBackup** レジストリ値にコピーします。
3. **defaultDmpAdminPw** の値を必要な新しい DMP パスワードに変更します。
4. [Save] をクリックします。
5. DMP をリブートします。

DMP のリブートとパスワードの更新後に、**defaultDmpAdminPwBackup** の値を保持するかクリアするかを選択できます。

ブラウザインスペクタの有効化/無効化

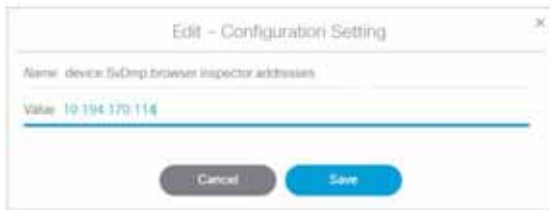
リリース 6.2 では、いくつかのセキュリティ強化策が導入されました。そのうちの 1 つは、デフォルトで DMP ブラウザインスペクタを無効にすることです。これにより、DMP へのネットワークアクセスが防止されます。レジストリ設定を追加してブラウザインスペクタを有効にした場合、レジストリデータを完全に削除して DMP をリブートしない限り有効なままになります。

ブラウザインスペクタを有効にするには、次の手順を実行します。

1. [Configuration] > [System Configuration] > [Advanced Registry Settings] をクリックします(図 3(23 ページ))。
2. [Key] パネルで、[Edit] をクリックします。[Create - Configuration Setting] ダイアログボックスが表示されます。
3. [Name] フィールドに「**device.SvDmp.browser.inspector.addresses**」と入力します。
4. [Value] フィールドに、ブラウザインスペクタ機能を有効にする DMP の IP アドレスを入力します。

ライブラリ(Library)

図 3 レジストリ データへのブラウザ インспекタ アドレスの追加



5. DMP をリポートして変更を有効にします。

ブラウザ インспекタの機能を無効にするには、次の手順を実行します。

1. リストから IP アドレスを削除します。
2. 完全に無効にするには、リストを空にするか、キーを削除します。
3. DMP をリポートして変更を有効にします。

ライブラリ(Library)



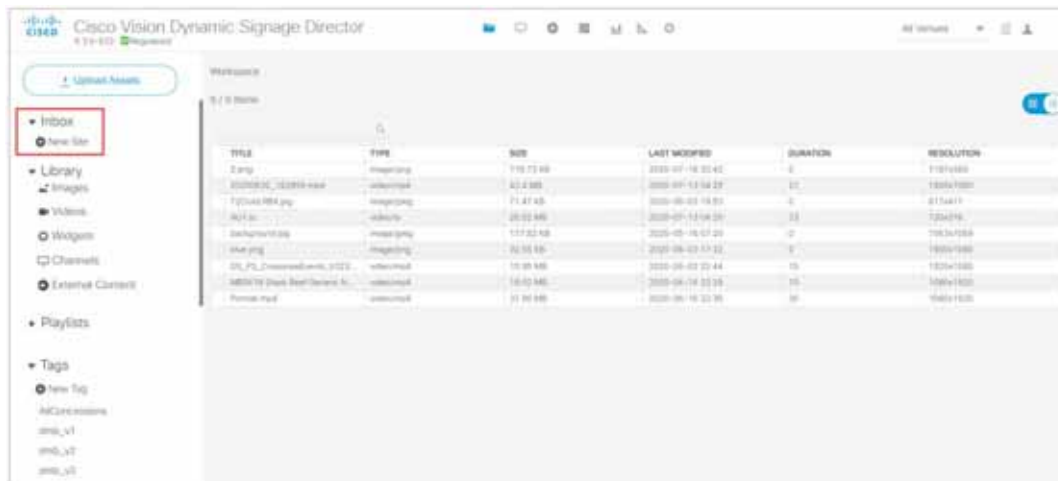
Cisco Vision Director にログインするとき、[Library] が Web ベースのポータルランディングになります(図 4(24 ページ))。上部中央バナーのアイコンの上にカーソルを置きます。これらのアイコンは、次の 7 つのエリアにおける操作の中心になります。

- [Library]: すべてのアセット/コンテンツ(画像、ビデオ、ウィジェット、チャンネル、およびその他の外部コンテンツ)を操作およびアップロードし、プレイリストを作成し、コンテンツにタグを追加し、コンテンツを整理してフォルダに収めます。
- [Device Management]: デバイスと TV を制御し、チャンネルを設定し、DMP の状態、正常性、モデル、TV のステータスや正常性、デバイスのロケーション、有効な Wi-Fi、または Power over Ethernet をフィルタリング/検索し、デバイスをオン/オフし、TV の設定条件を更新し、デバイスを再起動します。
- [Script Management]: 新しいイベントスクリプトを作成、制御、およびステージングします。指定エリアへの緊急または遅延サイネージの表示を集中制御します。タッチダウンやホーム ランなどの時にディスプレイ上のコンテンツ「アドホック」を変更します。
- [Event Management]: いつ、どのデバイスを選択したかにかかわらず、そのデバイスにスクリプトをスケジュールし、設定します。
- [System Status]: サーバーと DMP のダッシュボードの概要を表示し、すべてのサービスの監視とステータスの詳細を表示します。
- [Designer]: ウィジェットおよびテンプレート デザイナは、デバイスに表示するスマートなコンテンツの作成に役立ちます。
- [Configuration]: DMP、TV、および Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバーのサービスとステータスを管理および監視するためのグローバルナビゲーション。

ライブラリ(Library)

[Library] には、アセット(コンテンツ)のリストビューが表示されます。

図 4 Cisco Vision Director の [Library] 画面



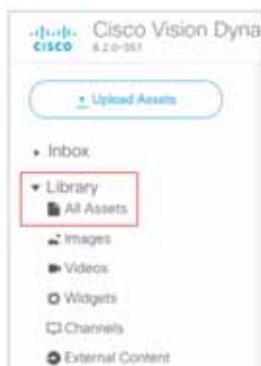
[Library] インターフェイスを使用して、ファイルベースのコンテンツ、外部 URL コンテンツ、プレイリスト、およびサブフォルダを管理できます。イベントスクリプト、スケジュールされたイベント、および画面テンプレート/ウィジェットを管理するための別個のメニュー([Library] の一部ではない)があります。

これらのオプションは、Cisco Vision Dynamic Signage Director Administrator、Content Manager、およびイベント(および施設)のオペレーターロールに使用できます。

[Library] UI には、次の要素が含まれています。

- パネルサイズの調整バー(プレイリストインターフェイスで使用可能)
- アセット(コンテンツ)またはプレイリストをクリックして詳細パネルを表示します。
- 詳細パネルのアップロード、リストビュー、およびごみ箱のアイコン
- 可視性を改善するために小型化されたサムネイル(リストビューからアクセス可能)
- アセットの詳細を提供する [Size]、[Last Modified]、[Duration]、および [Resolution] の各列
- プレイリストへのタグ付きコンテンツのドラッグアンドドロップ機能

注:[Library] インターフェイスの左パネルにある [Library] ドロップダウンメニューには、**multiVenueDeployment** のレジストリ設定が **false** に設定されている場合にのみ [All Assets] が表示されます。**multiVenueDeployment** が **true** に設定されている場合、[All Assets] は表示されません。詳細については、[Asset Items パネル\(163 ページ\)](#)を参照してください。

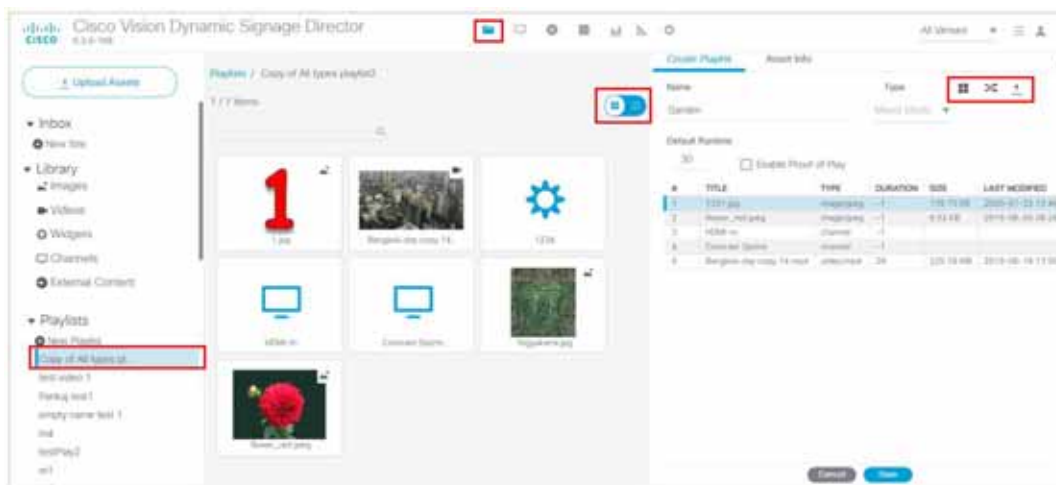


ライブラリ(Library)

コンテンツのインポートを自動化する新しい [Inbox] 機能の詳細については、[Library Inbox\(160 ページ \)](#)を参照してください。

[Randomize] アイコンでプレイリスト インターフェイスを強化しました([図 5\(25 ページ \)](#)の赤いボックスを参照)。これらのアイコンの上にカーソルを置くと、ツールチップが表示されます。[Randomize] を使用すると、プレイリストにコンテンツを追加して、表示されるコンテンツを「シャッフル」できます。

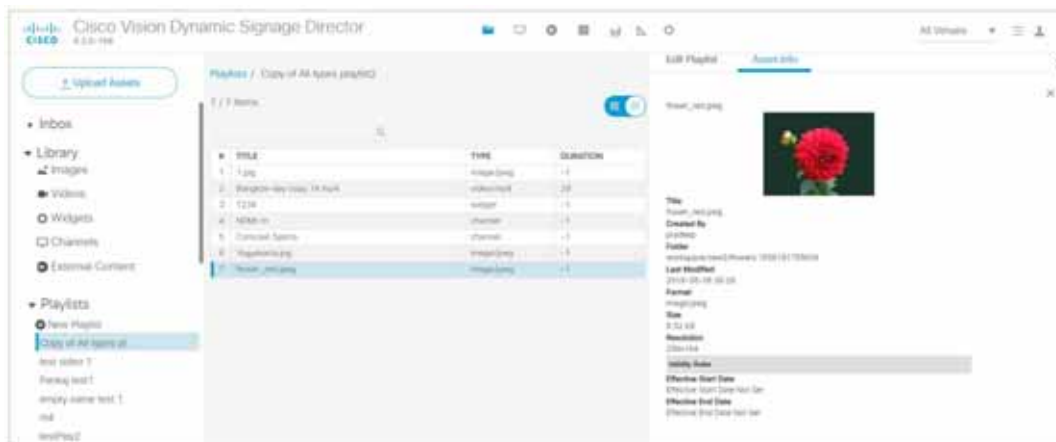
図 5 プレイリストの詳細ビュー表示中の [Library] 画面の調整



より多くのメタデータをコンテンツに表示するには、次の手順を実行します。

1. 右側のパネルの上部にある [Asset Info] をクリックします([図 5\(25 ページ \)](#))。選択したコンテンツのメタデータが表示されます([図 6\(25 ページ \)](#))。
2. コンテンツをプレビューします。

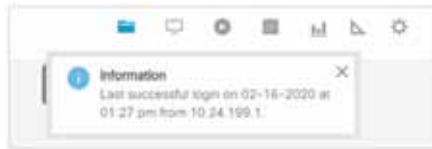
図 6 アセット(コンテンツ)のメタデータ



ログイン通知画面とロックアウト

リリース 6.2 では、ロックアウト保護を追加することにより、カスタマーエクスペリエンスの安全性を改善しました。ログインを試みた人が 1 分間に 5 回失敗すると、その人は 30 分間ロックアウトされるようになりました。

ログイン情報が常に表示されるようになりました。ログイン情報のタイムスタンプが正しいかどうかを定期的に確認してください。表示される情報の例を次に示します。



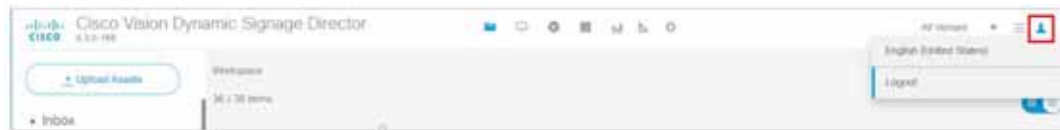
メインメニューログアウトのみ

利便性を高めるために、メインメニューからのみログアウトできます。

Cisco Vision Director からログアウトするには、次の手順を実行します。

1. Cisco Vision Director のメインメニューに移動します。
2. [Account profile] > [Logout] をクリックします([図 7 \(26 ページ\)](#))。

図 7 Cisco Vision Director からのログアウト



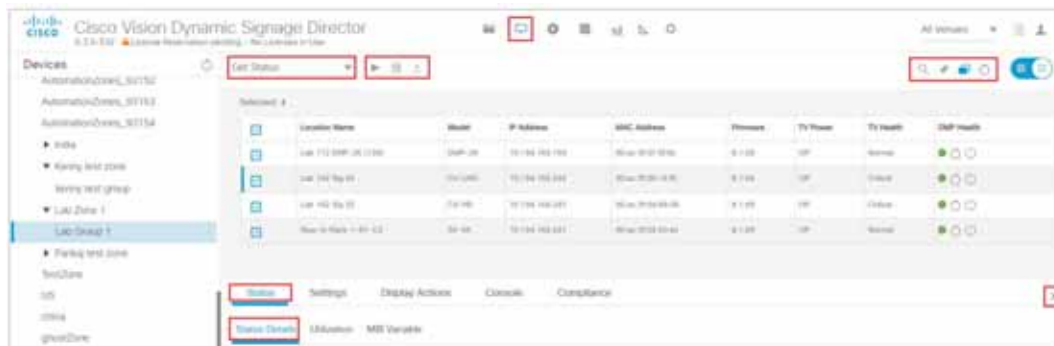
Device Management

[Device Management] (アイコンアクセスについては [図 8 \(26 ページ\)](#) を参照) には、メディアプレーヤーとそれらに接続されている TV ディスプレイのデバイスステータスの概要情報がイベント時に表示されます。アクセスする TV/モニターアイコンを選択します([図 9 \(27 ページ\)](#))。このリリースでは、廃止された [Management Dashboard] から多くの [DMP and TV Control] と [Monitor and Status] > [Services] の情報をこのインターフェイスに移動しました。最新情報の詳細については、[デバイス管理を使用したイベント時のメディア プレーヤー動作のモニタリング \(241 ページ\)](#) を参照してください。

図 8 Device Management



図 9 [Device Management] へのアクセス



Device Management アプリケーションの概要

- メインメニューからアクセスできます。
- 複数の開催場所の選択をサポート。
- [Zones and Groups]、[Luxury Suites]、[Auto Registered] または [All Devices] で監視するメディアプレーヤーを選択できます。ロケーション名、モデル、IP または MAC アドレス、ファームウェア、TV ステータス、ステータス、および説明によるデバイスの [Search]、[Find]、または [Filter] を可能にすることで、このインターフェイスをさらに強化しました。最新情報の詳細については、[デバイス管理を使用したイベント時のメディア プレーヤー動作のモニタリング\(241 ページ\)](#)を参照してください。
- デバイスをリストにピン留めしたり、ツリービューに切り替えたり、画面を更新したり、TV コントロールに移動したりすることができます。
- 管理者がデジタルメディアプレーヤーをすばやくリポートする方法を提供します。

注: すべてのコマンドまたは表示エリアがすべてのデジタルメディアプレーヤーに適用されるわけではありません。一部の機能は、メディアプレーヤータイプに固有のもので、一部のエリアでは、特定のデバイスに関する情報が報告されないことがあります。

スクリプト管理



[Script Management] は、オーディエンスを引き付け、施設をポピュラーにする優れたスクリプトをステージングし実行する場所です。次に、UI の更新点の概要をいくつか示します。

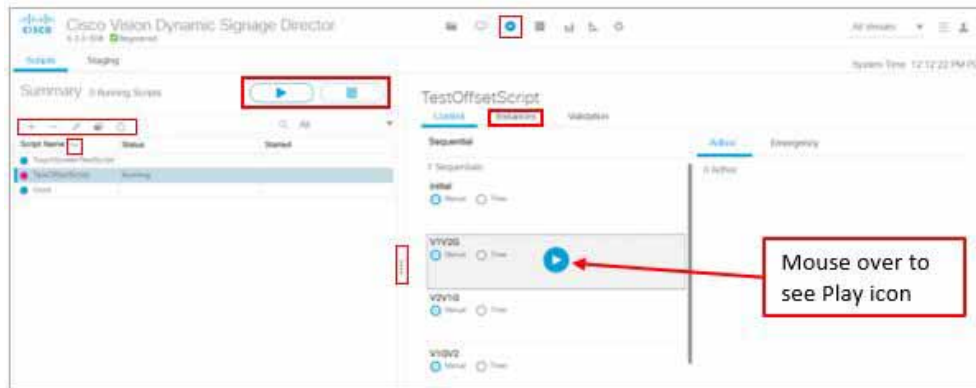
- メインメニューから [Script Management] へのグローバルナビゲーション。
- UI エクスペリエンスのカスタマイズ可能なカラー スキームが追加されました。
- 行の上にカーソルを置く機能や、イベントスクリプトの [Start] アイコンと [Stop] アイコンを追加し、新たに [State of my Stuff] アイコンを追加しました。
- スクリプトの検索機能とフィルタが改善されました。
- スクリプトの正確なインスタンスを通知するステータス「アイコン」。
- スクリプト名、ステータス、開始日時、説明、実行状態を一目で確認できます。これらすべての行は、カーソルを置くか、または右クリックで編集できます。

Event Management

- 画面上の領域を最大限活用するために、あらゆるものをドラッグしたりサイズ変更したりする機能を追加しました。列は折り畳むことができます。
- 中央のパネルにインスタンスを制御するための [Instance] タブを追加しました。[Summary] パネルからスクリプトを選択すると、インスタンスが表示されるようになりました。

次に、スクリプト管理用の新しい画面を示します([図 10\(28 ページ\)](#))。

図 10 スクリプト管理



注:スクリプト制御機能とスクリプト編集機能を統合しました。スクリプトの詳細については、このドキュメントの後で説明します。

Event Management

スケジューラ アプリケーションは、Cisco Vision Dynamic Signage Director のメイン メニュー > [Event Management] からアクセスできるカレンダーベースのスクリプト スケジュール機能を提供します。



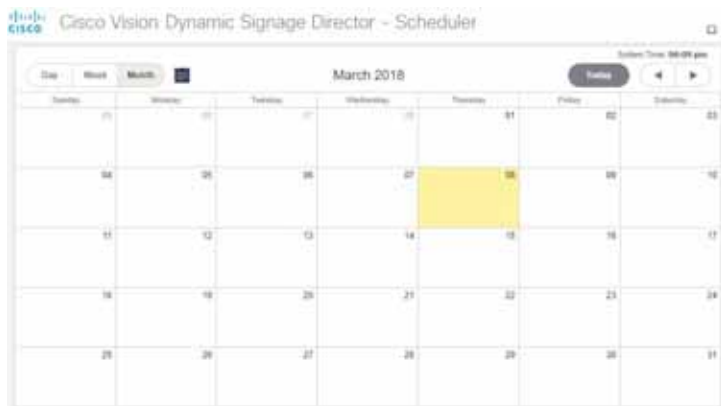
注:スケジューラ アプリケーションは、管理者およびイベント オペレータ ロールのみで使用できます。

このアプリケーションは、次のタスクを実行できる予定表([図 11\(29 ページ\)](#))を開きます。

- 1 回のイベント、または複数回のイベント シリーズを事前にスケジュールする。
- 1 回のイベント、複数回のイベント シリーズ、または複数回のイベント シリーズのうちの 1 つのイベントを変更またはキャンセルする。
- イベント スクリプトの開始と停止を自動化する。
- イベント スクリプトのスケジュール時にイベント スクリプト パラメータを定義する。
- スケジュールされたイベント スクリプトを日、週、および月ごとに表示する。
- スクリプト内でステートをスケジュールします。

System Status

図 11 スクリプトのスケジュール



System Status

廃止された [Management Dashboard] の一部の機能にアクセスするための新しいアイコンを追加しました。[Configuration] > [System Configuration] から、多くのサービスを利用できるようになりました。



[System Status] には、サーバーと DMP のダッシュボードの [Overview] が表示されます(図 12(29 ページ))。これは [Server Utilization] と [DMP Summary] を示すトップレベルビューです。目的は情報提供のみです。ここでデバイスのトラブルシューティングやデバイスへのアクセスを行うことはできません。詳細については、[Cisco Vision Director でのサービス リソースの管理\(263 ページ\)](#)を参照してください。

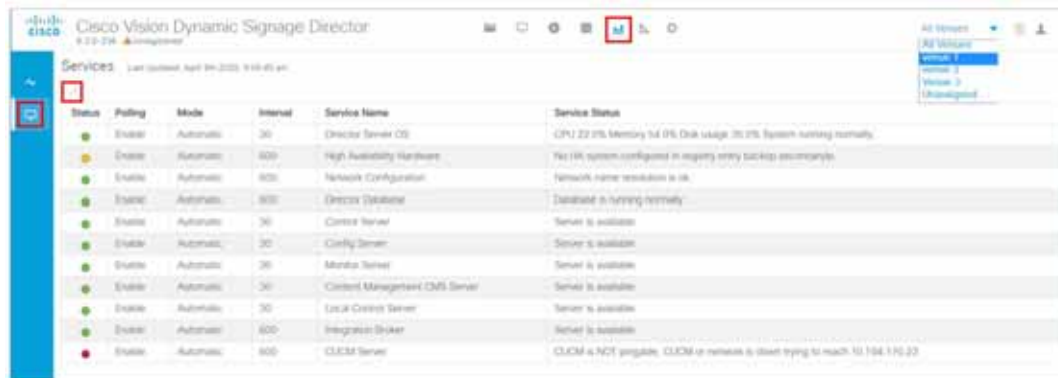
図 12 [System Status] と [DMP Summary]



[Monitor and Status] アイコンをクリックして、デバイスの全体的なステータスを確認します(図 13(30 ページ))。この例では、[venue 1] を表示しています。表示する施設を選択できます。詳細については、[Cisco Vision Director でのシステム サービスの管理\(261 ページ\)](#)を参照してください。

Designer

図 13 [Services] インターフェイスの監視とステータス



ネットワークで発生した問題を特定してトラブルシューティングできるようにするために、[System Status] インターフェイスからデバイスと監視対象サービスの詳細なステータスに簡単にアクセスできます。

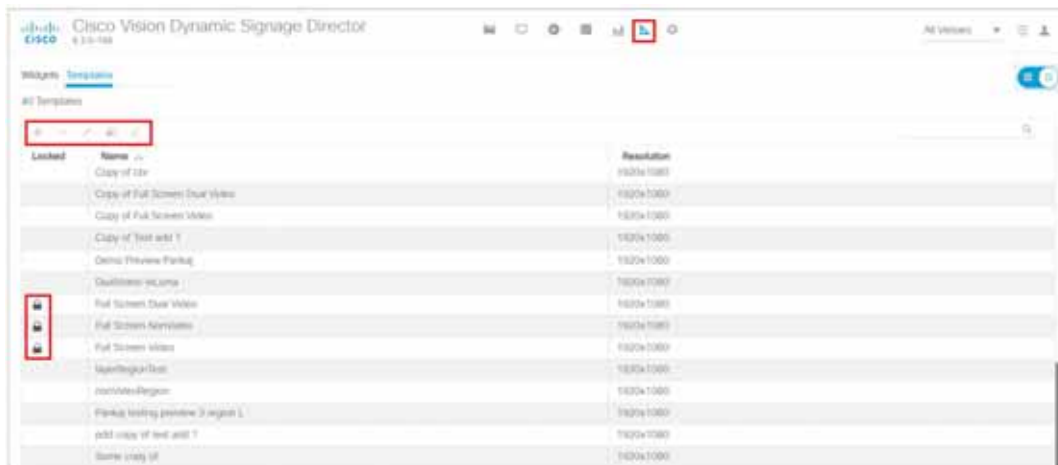
Designer

更新された Designer のインターフェイスは、興味深く魅力的な広告、ティッカー、メニュー、ビデオ、およびグラフィックを持つ領域内に表示を作成するためのゲートウェイです。このインターフェイスでは、ウィジェットとテンプレートを編集できます。



このインターフェイスは全面的に検索可能になり、並べ替えができ、拡張が可能になりました。また、テンプレートそれぞれの解像度の値を表示するとともに、パッドロックアイコンでロックされているかどうか也表示します。南京錠アイコンは、このテンプレートが変更できないことを示しています。ウィジェットまたはテンプレートの使用に関する詳細については [Cisco Vision Director](#) での画面テンプレートの操作(105 ページ)を参照してください。

図 14 Designer のインターフェイス:ウィジェットとテンプレート

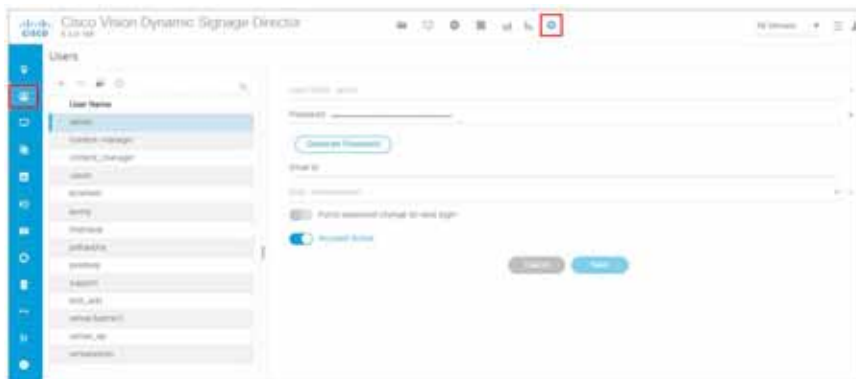


設定



このインターフェイスは、ゾーン別、グループ別、およびロケーション別に施設を設定するための拠点です。チャンネルを設定し、チャンネルガイドを作成できます。デバイスのタイプをすばやく表にまとめ、ラグジュアリースイートグループを作成して、デバイスのタイプをそれらのグループに割り当てることができます。入力トリガーと出力トリガーを操作して、外部データを取り込むことができます。図 15(31 ページ)に、[Configuration] UI オプションを示します。ツールヒントを表示するには、左側の青いパナーにカーソルを合わせます。

図 15 [Configuration] インターフェイス



[Control Panel] > [Setup] は [Configuration] インターフェイスに置き換えられました。[Configuration] は、デバイスのセットアップや、[Groups & Zones]、[Luxury Suites]、[Channels]、[Devices]、[Triggers]、[Proof of Play]、[Data Integration] のコンテンツ表示に関する施設制御のための包括的なインターフェイスを提供します。これらの各タブには、施設のエクスペリエンスの設定に役立つ複数のオプションが備わっています。

[Configuration] インターフェイスのアイコンの概要は次のとおりです。

- [Venues]: コンテンツを施設のロケーションごとに割り当てます。このインターフェイスは、有効化された後に表示され、ロールに固有のものであります。
- [Users]: ドロップダウンメニューからユーザーを作成し、そのロールを管理します。
- [Devices]: 施設のセットアップにデバイスを追加、編集、およびエクスポートします。デバイスはロケーションと DMP 別、ロケーションと DMP のマッピング別、IP フォン別、ローカル制御別、および表示仕様別に設定できます。
- [Groups & Zones]: どのようなデバイスがどのような TV ディスプレイに接続されているかを追跡して整理できるように、施設「エリア」のゾーンとグループの名前を設定します。
- [Luxury Suites]: 施設のスイートを DMP にマッピングして、ゲストに魅力的なエクスペリエンスを提供します。
- [Channel Definitions]: チャンネルとビデオチャンネルプロファイルを作成します。新しい [DMP Encoding Profiles] タブを追加しました。
- [Channel Guide]: ラグジュアリースイートの特定のデバイスに関連付けるチャンネルガイドを作成して割り当てます。
- [Data Integration]: 外部ソースからのデータを Cisco Vision Director に統合します。
- [Proof of Play]: 選択すると、DMP ごとに表示された正確なコンテンツの記録がコンパイルされます。
- [Triggers]: 入出力トリガーをここで設定します。

設定

- [TV Off Configuration]: Turn TVs Off アプリケーションを使用すると、施設オペレータまたは管理者は、1 つ以上のゾーン内、または施設全体のすべての TV の電源を制御できます。
- [System Configuration]: DMP、TV、Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバー、および展開時の DMP からスイッチへの接続の管理と監視を行うための包括的なインターフェイスを提供します。

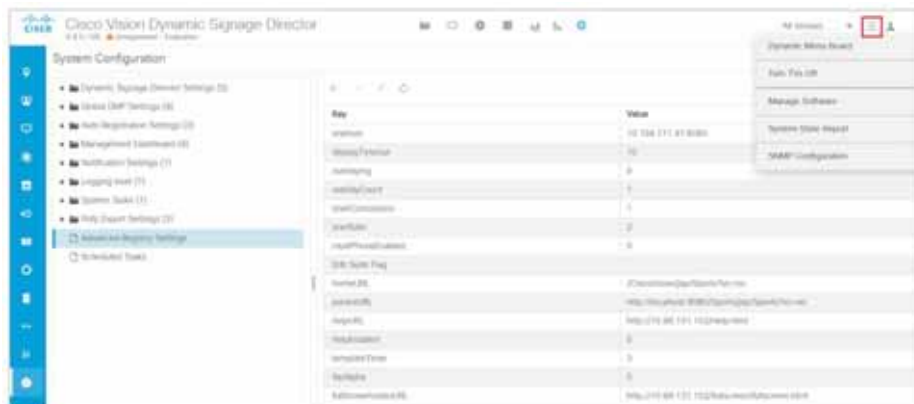
注: 施設オペレータの場合、[TV Off Configuration] には、1 つの大きな [Turn TVs Off] ボタンがある特別な [TV Off] 画面が表示されます。

[More] グリッド(ハンバーガー)

[More] ドロップダウンメニューを使用して次のオプションにアクセスします(図 16(32 ページ))。

- [Dynamic Menu Boards]: イベント時の売店のメニュー ボードの内容を動的に制御します。

図 16 [More] メニュー



- [Turn TVs Off]: TV を迅速に制御し、電源をオフにします。
- [Manage Software]: 最新の DMP ファームウェアのアップロード、最新のソフトウェアまたはサービスパックのアップグレード、利用可能な最新の言語パックのアップロード、使用するフォントの制御、DMP、データ統合、および DSD 証明書の管理、新しい DSD ログインバックグラウンド画像、DMP バックグラウンド画像、またはチャネルガイドのバックグラウンド画像のアップロード、DSD ソフトウェアライセンス情報の管理、システムバックアップ実行のためのインターフェイスを提供します。
- [System State Report]: Cisco Vision Director サーバーのシステム ステート データを簡単にキャプチャおよびエクスポートできます。この情報は、システムで発生した問題のトラブルシューティングに役立てるために、遠隔地のサポートエンジニアに送信できます。
- [SNMP Configuration]: Cisco Vision Director が、ネットワーク管理サーバーから送信された Simple Network Management Protocol (SNMP) 情報要求に応答できるようにします。

ダイナミック メニュー ボード (Dynamic Menu Board) アプリケーション

ダイナミックメニューボード (DMB) アプリケーションは、Cisco Vision Director 内のカスタムアプリケーションで、特定のメニューテーマとレイアウトで表示する独自コンテンツの追加を可能にします。DMB アプリケーションのデフォルト設定では、サンプルのメニュー テーマが提供されます。サンプルのテーマをコピーして、そのテーマの定義済みのフォーマットとレイアウトを使用する独自アイテムのメニューを作成できます。DMB メニューのテーマでは、選択したテーマとレイアウトの定義済みのフォーマットに基づき、背景グラフィック、テキスト コンテンツとグラフィック コンテンツの両方がサポートされます。

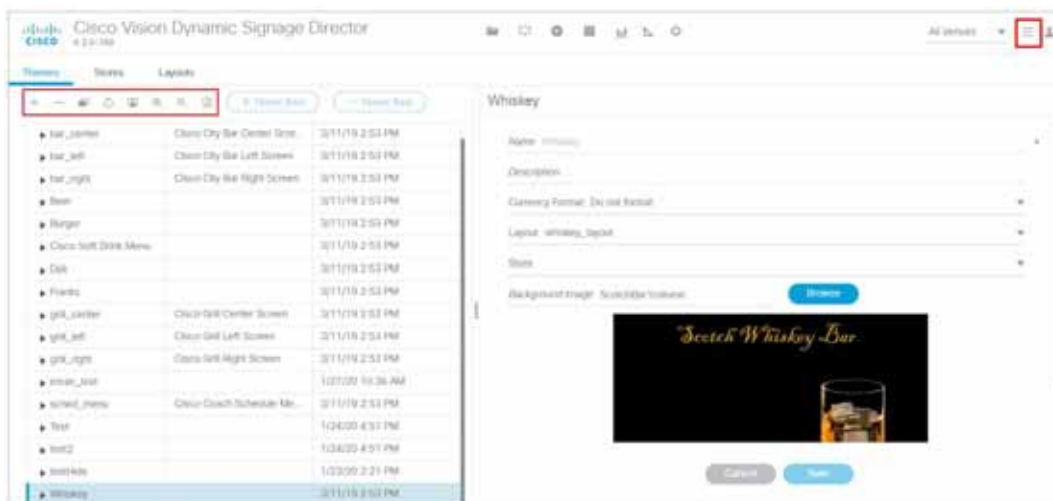
設定

メニューにコンテンツを追加したり、Cisco Vision Director のサンプルですでに定義されているコンテンツにリンクしたりすることができます。ストアのコンテンツにリンクすることの利点は、メニューアイテムの非表示、アイテムの価格の変更など、ショップ内で変更を行い、そのアイテムへのリンクが適切に設定されているすべてのメニューに対して変更を適用できることです。

注: 新規インストールの場合、画像、レイアウト、テーマのコンテンツサンプルは含まれていません。

これらのメニュー ボードの作成方法の概要については、[メニュー ボード コンテンツ\(102 ページ\)](#)を参照してください。[図 17\(33 ページ\)](#)に、[Themes] タブが表示されたインターフェイスを示します。新しいインターフェイスの使用方法の詳細については、『[Cisco Vision Director Dynamic Menu Board Configuration Guide](#)』を参照してください。

図 17 ダイナミック メニュー ボード(Dynamic Menu Boards)の UI

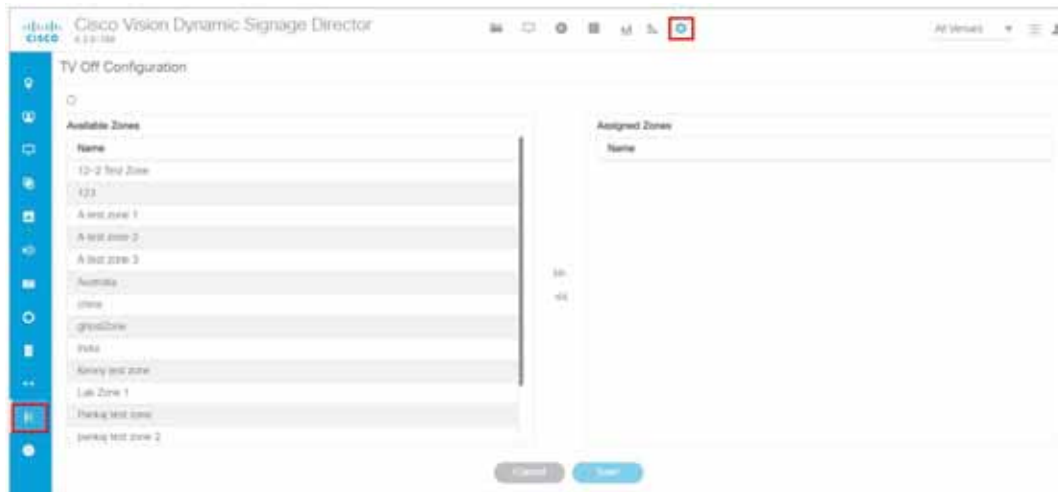


TV オフ(Turn TVs Off)アプリケーション

注: [Turn TVs Off] 機能を使用できるロールは、管理者および施設オペレータのみです。

Cisco Vision Director 展開に非常に多くの TV がある場合、使用後にすべての TV をオフにすることが重要です。Turn TVs Off アプリケーションを使用すると、管理者は、1 つ以上のゾーン内、または施設全体の全 TV の電源を制御できます。権限を持つユーザーだけが TV オフ(Turn TVs Off)アプリケーションにアクセスできます([図 18\(34 ページ\)](#))。ロールとそのアクセス権限の詳細については、「[ロールベース アクセス コントロール\(RBAC\(43 ページ\)](#))」を参照してください。

図 18 TV オフ(TVs Off)のインターフェイス



TV オフ(Turn TVs Off)アプリケーションには、次の機能が備わっています。

- 管理者はゾーンを定義して、多数の TV を制御できます。
- 割り当てられていないゾーンの TV は、Turn TVs Off アプリケーションでは制御できません。
- 管理者が、特定の TV(例えば、バック オフィスにある TV)を、TV オフ(Turn TVs Off)アプリケーションの制御対象から除外する。
- IT 担当者以外(施設オペレータなど)(管理者による定義に基づいて)TV をオフにするページにアクセスできます(図 19(34 ページ))。

図 19 [Turn TVs Off] への施設オペレータのアクセス



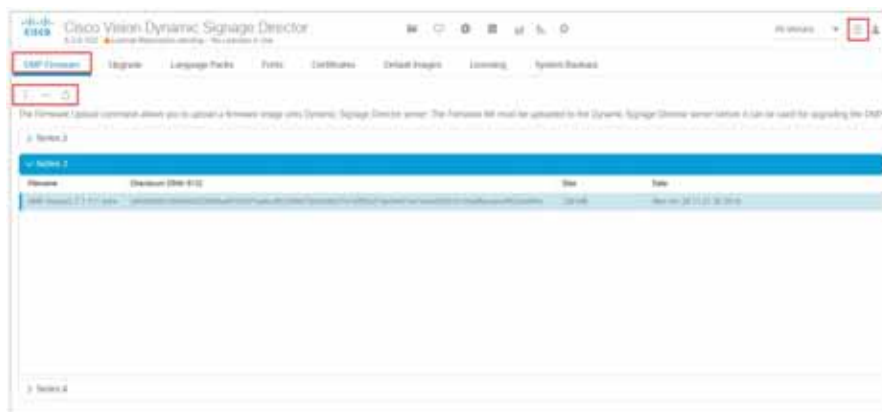
- 電子メール通知は、ステータス通知と同様に、管理ダッシュボードで設定された電子メール ID に送信されます。メインメニューから [TV オフ(Turn TVs Off)] ボタンをクリックすると、以下が行われます。
- TV をオフにするためのコマンドが、設定済みゾーン内のすべての TV に取り付けられた DMP に送信される。
- 電子メール通知が定義済みの一連のユーザーに送信される。
- TV のステータスの変更は Cisco Vision Dynamic Signage Director のログに記録されます。

ソフトウェア管理(Manage Software)アプリケーション

ソフトウェア管理(Manage Software)アプリケーション([図 20\(35 ページ\)](#))は、以下を行うために管理者のみが使用します。

- 最新の DMP ファームウェアのアップロードとインストール
- Cisco Vision Director ソフトウェアのアップグレード
- ユーザーインターフェイス(UI)ローカリゼーション用言語パックのアップロードとインストール
- ウィジェットで使用するカスタムフォントのインストール
- DMP、データ統合、または DSD 証明書のインストール
- ログインバックグラウンド画面、DMP バックグラウンド、またはチャンネル ガイド バックグラウンド用のカスタム画像のアップロード
- Cisco Vision Director のライセンス情報の管理とアップロード
- システムバックアップの実行

図 20 ソフトウェア管理(Manage Software)のインターフェイス

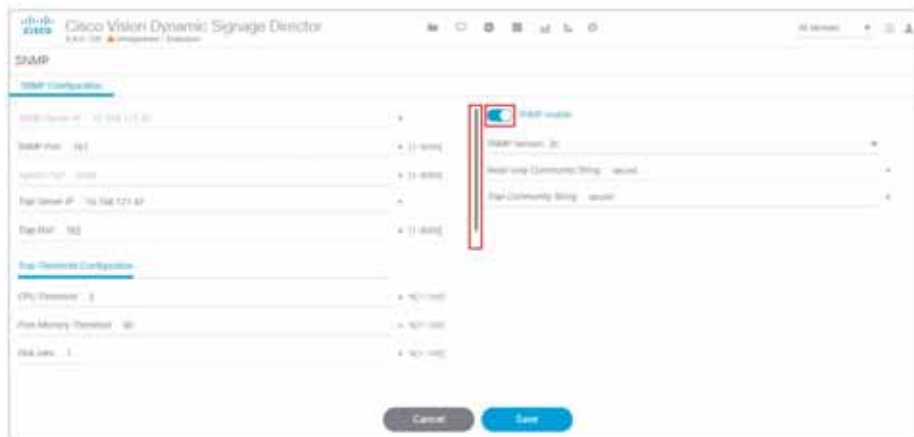


Manage Software アプリケーションの使用方法に関する詳細については、『[Cisco Vision Software Installation and Upgrade Guide: Dynamic Signage Director](#)』を参照してください。[Manage Software] インターフェイスの新機能については、[6.4 のリリースノート](#)を参照してください。

システムステートレポート(System State Report)アプリケーション

システム ステート レポート(System State Report)アプリケーション([図 21\(36 ページ\)](#))を使用すると Cisco Vision Director サーバーのシステム状態データを簡単にキャプチャし、エクスポートすることができます。この情報は、システムで発生した問題のトラブルシューティングに役立つために、遠隔地のサポート エンジニアに送信できます。

図 23 SNMP 設定情報の設定



3. [保存 (Save)] をクリックします。

注: デフォルトでは、これは設定されていません。SNMP を有効にして設定を選択する必要があります。次に、トラップのしきい値を選択します。

Cisco Vision Director の API の概要

この項では、Cisco Vision Director でサポートされているアプリケーション プログラミング インターフェイス (API) の概要を示します。

- イベント トリガー AP(37 ページ)
- メディア プランナー インポート AP(38 ページ)
- ユーザー コントロール AP(39 ページ)

注: Cisco Vision Dynamic Signage Director のすべての API は、特別な契約により使用できるようになります。詳細については、シスコの担当者にお問い合わせください。

イベント トリガー API

Cisco Vision Dynamic Signage Director は、インバウンド HTTP ベースの Representational State Transfer (REST) API をサポートしています。サードパーティでこの API を使用して、Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアによる 1 つ以上のアクションをトリガーすることが可能です。Cisco Vision Dynamic Signage Director は、HTTP ベースのコマンドをダウンストリームのサードパーティシステムに送信することもできます。

外部入力トリガーのサポートに関する詳細については、『[Configuring Cisco Vision Dynamic Signage Director for External Triggers](#)』ガイドを参照してください。イベント トリガー API は、Cisco Technical Assistance Center の担当者ではサポートされません。

注: ソフトウェア アプリケーションから外部トリガーを制御したい場合は、シスコの担当者にお問い合わせいただくことにより、別途ご契約の元で利用可能なイベント トリガー API を入手できます。(Apple iTouch、iPhone および iPad 製品をサポートする) OS のイベント トリガー API 用のサードパーティ デモ アプリケーションの例として「TriggerSVD」があります。これは、iTunes ストアから無償ダウンロードできます。

メディア プランナー インポート API

Cisco Vision Director は、外部の、サードパーティ作成のプレイリストをインポートするために使用されるメディア プランナー インポート API をサポートしています。この API を使用することにより、スクリプト内に置かれているインポート済みプレイリストの自動更新をサポートできます。また、外部プレイリストを手動でインポートできます。

メディア プランナー API は、次の機能をサポートしています。

プレイリストのインポート機能

- プレイリストの自動作成およびプレイリストへの既存コンテンツの自動読み込み。
- 欠落している各コンテンツアイテムのアップロード後、その欠落しているコンテンツがプレイリストに自動的にリンク。
- すべてのコンテンツアイテムを保有するスクリプトに関連付けられているプレイリストの更新に関しては、ユーザ操作による介入は不要。

特殊なユーザー インターフェイスの通知

- インポートされたプレイリストは、「外部プレイリスト」として簡単に識別可能。
- コンテンツが欠落しているプレイリストの表示。
- コンテンツが欠落しているプレイリストをテンプレートに割り当てた際の、ユーザー警告の表示。
- コンテンツが欠落しているプレイリストが含まれるスクリプト開始時の、ユーザー警告の表示。

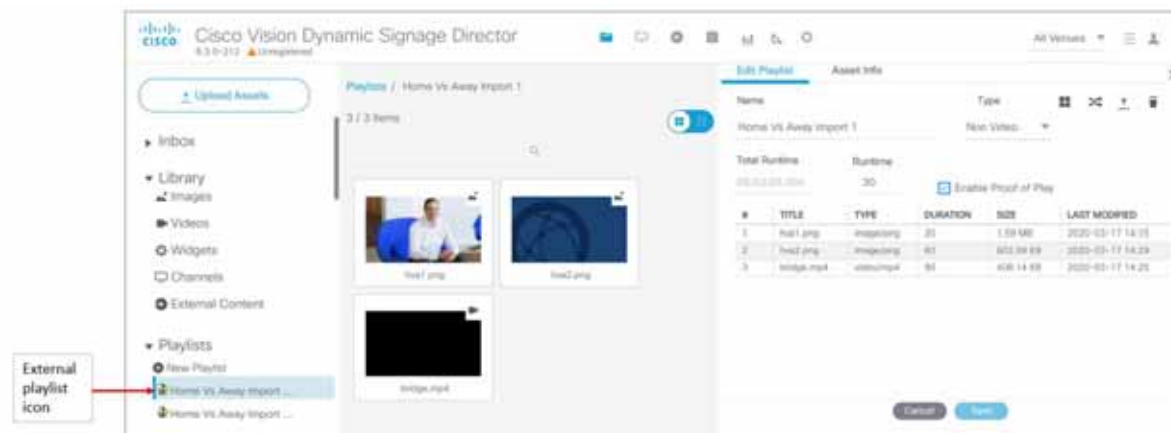
再生証明 (PoP: Proof of Play) の追加

- 手動で作成したプレイリストと同一方法だが、よりきめ細かく動作する。
- タイムスロット再生ごとに再生証明 (POP) タグの自動挿入。

ユーザー インターフェイスの例

この API により、プレイリストが自動的に作成されます。このプレイリストは、外部プレイリスト ソースとしてのタグを付加するアイコンによって簡単に識別できます([図 24 \(38 ページ\)](#))。

図 24 コンテンツ画面内の外部プレイリスト



プレイリストには、Cisco Vision Director の既存のコンテンツが読み込まれ、プレイリスト内のコンテンツの欠落が通知されます。欠落しているコンテンツアイテムは、クエスチョンマークで示されます。欠落しているコンテンツをインポートすると、そのコンテンツは外部プレイリストに自動的にリンクされます。

Cisco Vision Director の API の概要

外部プレイリスト ソースに対して現在の再生証明 (PoP: Proof of Play) レポートが完全サポートされ、指定のスポンサー ID に対して PoP タグが自動的に作成されます。欠落しているコンテンツは、PoP レポートには含まれません。

データ統合での POS 統合の使用法に関する詳細については、『[Release 6.4: Cisco Vision Director Data Integration Guide](#)』を参照してください。

ユーザー コントロール API

Cisco Vision Director はスイート ルーム向け API をサポートしています。この API により、Cisco Vision Director に対して制御情報の問い合わせや送信が可能になります。

この API は次の領域をサポートしています。

- [HDMI-In コントロール\(39 ページ \)](#)
- [情報取得\(39 ページ \)](#)
- [セキュリティ\(40 ページ \)](#)
- [TV コントロール\(40 ページ \)](#)

ローカル制御 API に関する詳細については、最寄りの代理店またはシスコの担当者にお問い合わせください。

HDMI-In コントロール

DMP では、次の API HDMI-In コントロールが使用できます。

- HDMI-In ストリーミングの開始
- HDMI-In ストリーミングの停止

情報取得

この API の情報機能には、以下が含まれます。

- 制御可能なスイートの問い合わせ。
- 制御可能なすべてのメディアプレーヤーの問い合わせ。
- 制御可能なスイート ルームのすべてのメディアプレーヤーの問い合わせ。
- すべてのスイート ルームに存在する制御機能の問い合わせ。
- 特定のスイート ルームに存在する制御機能の問い合わせ。
- すべてのメディアプレーヤーに存在する制御機能の問い合わせ。
- 特定のメディアプレーヤーに存在する制御機能の問い合わせ。
- すべてのメディアプレーヤーに存在する A/V 入力の問い合わせ。
- 特定のメディアプレーヤーに存在する A/V 入力の問い合わせ。
- Vision Director のクローズド キャプション機能のクエリ。
- 特定のスイートのチャンネル ガイドの問い合わせ。チャンネルがお気に入り (favorite) としてマークされている場合、お気に入りの順番が含まれる。
- 制御可能なすべてのメディアプレーヤーのステータスの問い合わせ。

Cisco Vision Director の API の概要

- 特定のプレーヤーのステータスの問い合わせ。
- XML 形式での詳細な HTTP POST 応答メッセージ。

セキュリティ

この API のセキュリティ機能には、以下が含まれます。

- 各スイート ルームのデバイスにアクセスし制御するための、各スイート ルームに固有の恒久的な PIN コード。
- イベント スクリプト実行のたびに変更され、TV に表示できる、各スイートの暫定 PIN コード。この PIN コードは、Cisco Vision Director のデフォルトのスケジュール済みタスクに基づき、毎日午前 4 時(デフォルト)に変更される。UI を使用して必要に応じて変更することも可能。
- 管理制御用の共通ユニバーサル PIN。

TV コントロール

この API の TV コントロール機能には、以下が含まれます。

- TV の電源のオン/オフ。
- ガイド内のチャンネルにチャンネル変更。
- ガイド内の現在のチャンネルから上下方向にチャンネル変更。
- お気に入りチャンネルの登録とお気に入りの順番。
- 特定の値にボリュームを変更。
- 音量を現在の値から大きくまたは小さく変更
- 特定のオンまたはオフによって音声をミュート。
- 音声のミュートとミュート解除の切り替え。
- 特定の設定を使用してクローズド キャプションをオン。
- クローズド キャプションをオフ。
- 特定の入力設定を使用して A/V 入力を変更。
- TV への情報バナーの表示と非表示。

ビデオ リプレイ

Cisco Vision Dynamic Signage Director リリース 5.0 以降、モバイル アプリケーションを使用してスイート TV でビデオ リプレイ機能を使用できるようにユーザー コントロール API が拡張されました。

この API のビデオ リプレイ機能には、以下が含まれます。

- リプレイ アプリケーションの開始。
- リプレイ アプリケーションの停止。
- 複数の DMP または DMP のグループにリプレイ アプリケーションをロード。
- 指定のデバイスでエンコード済み URL からリプレイ ビデオの再生を開始。
- 指定のデバイスでリプレイ ビデオの再生を停止。
- 現在実行中のリプレイ ビデオの再生を一時停止。
- 現在実行中のリプレイ ビデオの再生を再開。

ユーザー ロールについて

Cisco Vision Director の使用を開始する前に、ロールベース アクセス コントロール (RBAC) について理解することが重要です。

Cisco Vision Director を展開する場合、通常、会場の設定とイベントの運営の各面を担当する担当者のチームが組織されます。たとえば、システム管理者に加えて、イベント オペレータ、コンテンツ マネージャおよび技術担当者が通常は存在します。各担当者は、Cisco Vision Director ソフトウェアを操作するために必要な各種スキルを持ちます。

Cisco Vision Director ソフトウェアは、RBAC を実装しており、これにより権限とユーザーアクセスの制御が可能になり、トレーニングを受けた人員は使用権限がある部分のみにアクセスできます。複数のユーザーを、このソフトウェアの同じロールに割り当てることができます。ただし、各ユーザー名には単一のロールしか割り当てることができません。

複数の施設がある環境の RBAC に関する詳細については、『[Cisco Vision Administration Guide: Dynamic Signage Director, 6.4](#)』の『[Role-Based Access Control for Hierarchical Management of Multiple Venues](#)』を参照してください。

Administrator ロール

注: このセクションでは、Cisco Vision Director システムのプライマリ (または集中) 管理者 (Administrator) ロールについて説明します。施設管理者には、施設ごとに承認される管理権限のサブセットがあります。

プライマリ管理者 (Administrator) ロールは、Cisco Vision Director ソフトウェアへの無制限のアクセス権限を持ちます。このロールは、ユーザーを追加し、それらのユーザーに RBAC 権限を割り当てることができる唯一のロールです。管理者 (Administrator) ロールは、Cisco Vision Director で事前設定されており、削除できません。ただし、パスワードは変更できます。また、複数のユーザーに管理者の権限を割り当てすることもできます。

Cisco Vision の管理者は、施設全体への Cisco Vision ソリューションの展開を担当する担当者です。

注: 管理者は、複数の施設へのグローバル アクセス権限を持ちます。施設管理者は、特定の施設へのアクセス権限のみ持ち、それらのアクセス権限は Cisco Vision Director のプライマリ管理者によって付与されます。

プライマリ管理者は、すべての機能を実行するための十分な権限を持ちます。プライマリ管理者は、次のタスクを実行できる唯一のロールです。

- Software Manager を使用した、言語パック、フォント、すべての証明書タイプ、すべてのデフォルト画像タイプのインストール、DMP ファームウェアのアップロード、ソフトウェアのアップグレード、Cisco Vision Director 製品のライセンス管理、システムバックアップの実行
- 複数施設のサポートと Cisco Vision Director Remote リモートサーバーの設定
- 施設へのオブジェクトの関連付け
- 追加ユーザーの作成とロールの割り当て
- Cisco Vision Director へのデバイスの追加
- ラグジュアリースイート、バックオフィス、バーなどのローカル制御エリアの設定
- Point of Sale (POS) の設定
- ダイナミックメニューボード (DMB) アプリケーションの設定
- 外部トリガーの設定
- Device Manager の設定と DMP のレポート

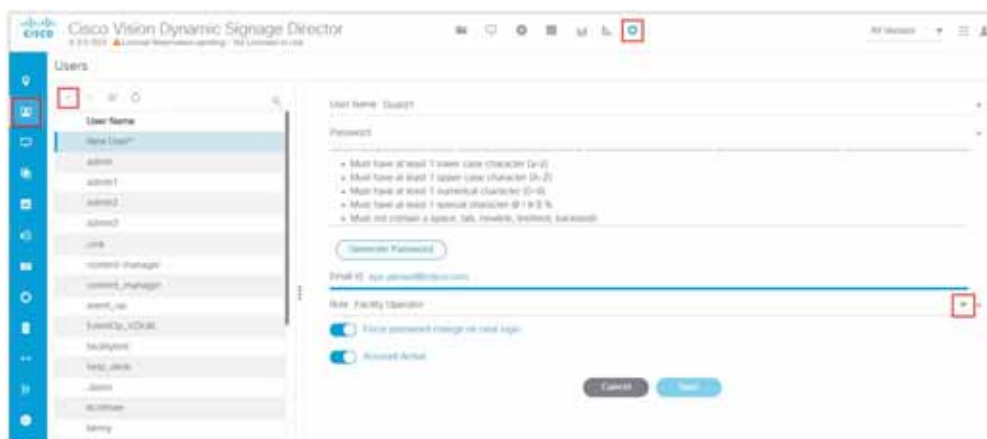
ロール別のユーザーの追加

新しいユーザーを作成してロールを割り当てます。これは、管理者が施設、フォルダ(コンテンツ)、または施設内のロケーションへのアクセスレベルを人員に割り当ててうえで非常に重要なタスクです。

新しいユーザを作成するには、次の手順を実行します。

1. [Configuration] > [Users] をクリックします。[Users] インターフェイスが表示されます([図 25\(42 ページ\)](#))。
2. [+][Add] をクリックします。新しいユーザーがフィールドに表示されます。
3. [User Name] を入力します。
4. [Email ID] を入力します。

図 25 新しいユーザの作成



5. ドロップダウンメニューから [Role] を選択します。
6. [Generate Password] をクリックします。[Password] フィールドの下にカラーバーが表示されます。
7. 目のアイコンをクリックして実際のパスワードを表示し、文字を追加してパスワードの強度を高めます。

ベストプラクティス:パスワードバーがすべて緑色になるようにします。

8. [保存(Save)] をクリックします。

この例では、施設オペレータは、管理者によってテレビが追加され、施設やロケーションなどが割り当てられた後に、テレビのオンとオフを切り替えることができます。 [図 19\(34 ページ\)](#)を参照してください。

ユーザーの割り当て

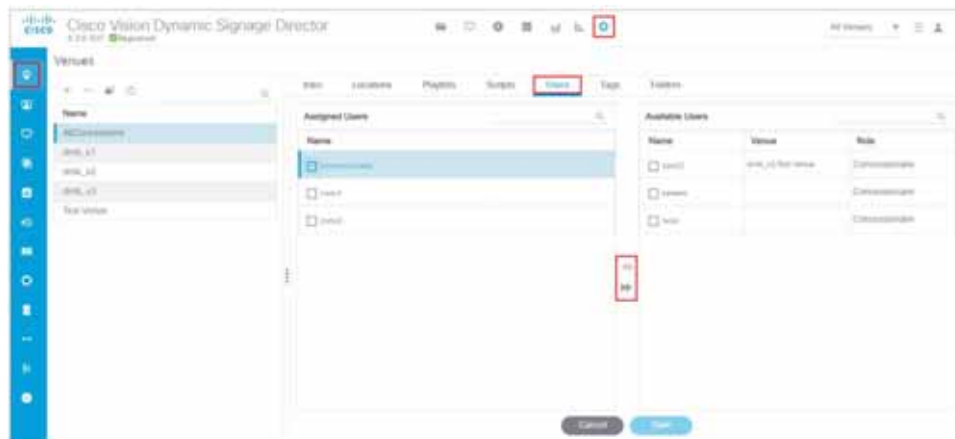
ユーザーが作成されると、管理者はそのユーザーをロケーションやフォルダ(Dynamic Menu Board のコンテンツ)といった施設内の特定の項目に割り当てることができます。

ユーザーを施設に割り当てするには、次の手順を実行します。

1. [Configuration] > [Venues] をクリックします。[Venues] インターフェイスが表示されます([図 26\(43 ページ\)](#))。
2. [Users] タブをクリックします。[Assigned Users] パネルと [Available Users] パネルが表示されます。
3. チェックボックスを使用して、リストから使用可能なユーザーを選択します。
4. モーション矢印をクリックして、そのユーザーを [Assigned Users] パネルに移動します。
5. [保存(Save)] をクリックします。

ユーザー ロールについて

図 26 施設へのユーザーの割り当て



この例では、[Concessionaire] は [すべての施設の] [AllConcessions] に割り当てられました。

RBAC

表 1(43 ページ)に、Cisco Vision Dynamic Signage Director の管理者が割り当てることができるロールの概要を示します。

表 1 Cisco Vision Dynamic Signage Director のロール

ロール	説明
<p>コンセショナリー (Concessionaire)</p>	<p>コンセショナリーは、Dynamic Menu Board アプリケーションにアクセスして、メニューを作成できます。ライブラリの既存のコンテンツを使用して、メニュー項目の画像とメニューボードの背景画像を関連付けることができます。</p> <p>ユーザーにロールが割り当てられ、そのロールに基づいた十分な権限がユーザーにある場合、それらのすべてのユーザーは、コンセショナリーがアップロードしたすべてのコンテンツを使用できます。</p> <p>注:コンセショナリーロールに、[Script Management] や [System Configuration] の権限はありません。表示できるのは自分で作成した DMB テーマのみです。</p>
<p>コンテンツ マネージャ(Content Manager)</p>	<p>コンテンツマネージャは、コンテンツと広告のアップロードを担当します。コンテンツ マネージャは、指定のスケジュールに従い、開催場所の適切なエリア、および TV 画面の適切なエリアに正しいコンテンツが表示されるようにするために、イベント スクリプトを作成します。</p> <p>コンテンツ マネージャは、イベントのステート/スクリプト、ゾーン、グループ、画面テンプレート、プレイリスト、およびティッカーを設定するための Cisco Vision Director の権限を持ちます。</p> <p>コンテンツマネージャは、カスタムメニュー用のウィジェットやカスタムメニュー用のプレイリストを作成して割り当てすることもできます。</p>

表 1 Cisco Vision Dynamic Signage Director のロール(続き)

ロール	説明
イベント オペレータ(Event Operator)	<p>イベント オペレータは、イベント中に Cisco Vision Director のイベント スクリプトを実行します。イベント オペレータは、スケジューラ(Scheduler)アプリケーションを使用してスクリプトをスケジュールする権限、スクリプトを開始および停止する権限、ならびにそれらのスクリプトのステートを変更する権限を持ちます。</p> <p>イベント オペレータは、イベント ステートの遷移を時間ベースから手動に変更し、イベントを 3 つのアドホック ステート(内部緊急事態、外部緊急事態、または遅延)のいずれかに遷移させ、ティックャー コンテンツ(レガシーバージョン)を承認します。</p> <p>さらに、イベント オペレータはステート変更を実行でき、試合前のウォークスルーの実行を担当します。</p> <p>イベント オペレータは TV オフ(TV Off)アプリケーションも使用できます。</p>
施設オペレータ(Facility Operator)	施設オペレータは、 TV Off アプリケーションと Users アプリケーションのみアクセスできます。
ヘルプデスク(Help Desk)	ヘルプデスクユーザーは、[System Configuration] で情報を表示および監視するための読み取り専用アクセス許可と、[Device Management] を使用する権限を与られます。このロールには、自分のパスワードを変更する権限を除き、[Configuration] インターフェイスでの権限がありません。
サポート(Support)	サポート ユーザーは、1 次レベルのテクニカル サポートを担当します。サポートユーザーには、[System Configuration] への制限付きアクセス権限があり、Cisco Vision ネットワークでの DMP ステータスの監視、トラブルシューティング、および DMP の管理を実行できます。[Device Management] へのアクセス権限もあります。このサポートロールには、自分のパスワードを変更する権限を除き、[Configuration] での権限がありません。
施設管理者(Venue Administrator)	<p>(リリース 5.0 以降)施設管理者は、そのユーザーに対してメインの管理者が権限を付与した施設において、Cisco Vision Director の次のエリアについて制限付き権限を持ちます。</p> <p>[Script Management]</p> <p>[System Configuration]: コマンドのサポートが制限された読み取り専用アクセス。</p> <p>[Device Management]: 読み取り専用アクセス。</p> <p>[Devices] (デ스플레이仕様のみ): [Zones Groups]、[Channels]、[Luxury Suites] への読み取り専用アクセス。</p>
施設オペレータ(Venue Operator)	<p>(リリース 3.1 以降)施設オペレータは、管理者がそのユーザーに対して権限を付与した施設においてスクリプトを制御します。[System Configuration] で、施設オペレータは、権限が付与された施設への読み取り専用アクセスにより、[System Configuration] の情報を表示および監視できます。[Device Management] へのアクセス権限もあります。</p>

注: 施設固有の権限を持つロールは、施設管理者、施設オペレータおよびコンセンソナリーのみです。詳細については、『[Cisco Vision Administration Guide: Dynamic Signage Director, 6.4](#)』の「[Configuring Cisco Vision Dynamic Signage Director for Multiple Venue Support](#)」を参照してください。

ロール別のアクセス権限の概要

表 2 (45 ページ) に、Cisco Vision Director ソフトウェアのアクセス領域の概要をユーザー ロール別に示します。

表 2 Cisco Vision Dynamic Signage Director の機能エリア別ロール アクセス一覧

機能エリア	管理者	コンセショナ リー	コンテン ツ マネー ジャ	イベント オペレータ	施設オペ レータ	ヘルプデ スク	サポート	施設管理者	施設オペ レータ
デバイス管理 (Device Management)	対応	-	-	-	-	読み取り 専用 (Read only)	読み取り 専用 (Read only)	対応	読み取り 専用 (Read only)
設定 (Configuration)									
チャンネル定義 (Channel Definitions)	対応	-	対応	-	-	-	-	読み取り専 用(Read only)	-
チャンネル ガイ ド(Channel Guide)									
データ統合(Data Integration)	対応	-	対応	-	-	-	-	-	-
デバイス (Devices)	対応	-	-	-	-	-	-	制限付き ¹	-
Groups & Zones	対応	-	対応	対応	-	-	-	読み取り専 用(Read only)	-
メニュー (Menus)	対応	-	対応	-	-	-	-	-	-
マイ プロファイ ル(My Profile)	-	対応	対応	対応	対応	対応	対応	対応	対応
再生証明(Proof of Play)	対応	-	-	-	-	-	-	-	-
店舗(Stores)	対応	-	-	-	-	-	-	-	-
Luxury Suites	対応	-					制限 付き ²	読み取り専 用(Read only)	-
システム設定 (System Configuration)	対応	-	-	-	-	制限あり ⁵	対応	制限あり ⁷	制限あり ⁸
トリガー (Triggers)	対応	-	-	-	-	-	-	-	-
ユーザー管理 (User Admin)	対応	-	-	-	-	-	-	-	-
開催場所 (Venues)	対応	-	-	-	-	-	-	-	-

ユーザー ロールについて

表 2 Cisco Vision Dynamic Signage Director の機能エリア別ロール アクセス一覧(続き)

機能エリア	管理者	コンセショナ リー	コンテン ツ マネー ジャ	イベン ト オペレータ	施設オペ レータ	ヘルプデ スク	サポート	施設管理者	施設オペ レータ
スクリプト管理 (Script Management)									
コンテンツ (Content)	対応	-	対応	-	-	-	-	制限付き ³	-
コントロール (Control)	対応	-	-	対応	-	-	-	制限付き ⁴	制限あり ⁵
ステージング (Staging)	対応	-	-	対応	-	-	-	対応	-
スケジューリ ング(Scheduling)	対応	-	対応	-	-	-	-	対応	-
テンプレート (Templates)	対応	-	対応	-	-	-	-	-	-
ウィジェット (Widgets)	対応	-	対応	-	-	-	-	-	-
ダイナミック メ ニュー ボード (Dynamic Menu Boards)	対応	対応	対応	-	-	-	-	-	-
システムステー タス(System Status)	対応	-	-	-	-	制限付き ⁵	対応 ⁶	制限付き ⁷	制限付き ⁸
スケジューラ (Scheduler)ア プリケーション	対応	-	-	対応	-	-	-	-	-
ソフトウェアマ ネージャ (Software Manager)	対応	-	-	-	-	-	-	-	-
システム状態レ ポート(System State Reports)	対応	-	-	-	-	-	-	-	-
TV オフ アプリ ケーション(TV Off Application)	対応	-	-	対応	対応	-	-	-	-

1. 施設管理者(Venue Administrator)は、ディスプレイ仕様(Display Specifications)パネルのみ編集できます。
2. サポート(Support)ユーザは、スイートの TV 制御 PIN およびチャンネル ガイドを設定できます。
3. 施設管理者(Venue Administrator)は、その施設管理者(Venue Administrator)に権限が付与されているに関連する(タグが付けられて
いる)コンテンツを削除できます。外部コンテンツ、チャンネル、およびダイナミック メニュー ボード(DMB:Dynamic Menu Board)
のコンテンツ アイテムは、すべてのに対してグローバルです。したがって、これらのグローバル コンテンツアイテムも施設管理者
(Venue Administrator)は削除できます。
4. 施設管理者(Venue Administrator)および施設オペレータ(Venue Operator)は、スクリプト制御のみ行うことができ、また管理者
(Administrator)がそのユーザに対して権限を付与した施設に対してのみ制御を実行できます。
5. ヘルプデスクユーザは、読み取り専用アクセス権限により、[System Status] の情報を表示および監視できます。また、[System
Status] で、DMP に対して Get Status、Ping、Display IP、および Ping Test といった各種コマンドを実行できます。

ユーザー ロールについて

6. サポート (Support) ユーザは、ステータスの取得、Ping、IP の表示、Ping テスト、TV のオン/オフ、ディスプレイ入力の設定、ディスプレイ バナーの設定、クローズド キャプションの設定、ビデオ チャンネルの設定、TDR を使用した配線テスト、TDR テストの結果表示を、それぞれコマンドで実行できます。
7. 施設管理者は、権限が付与された施設への読み取り専用アクセス権限により、[System Status] で情報を表示および監視できます。また、施設管理者としての権限が付与された施設の DMP に対して、[System Status] で Get Status、Ping、Display IP、および Ping Test といった各種コマンドを実行することもできます。
8. 施設オペレータは、権限が付与された施設への読み取り専用アクセス権限により、[System Status] で情報を表示および監視できます。また、施設オペレータとしての権限が付与された施設の DMP に対して、[System Status] で Get Status、Ping、Display IP、および Query Syslog といった各種コマンドを実行することもできます。

ユーザー ロールについて